

## 特集

# 住みたい・住み続けたいまちへ

花巻市の総人口は、平成12年の107,814人をピークに減少に転じ、現在は約90,800人です(市住民基本台帳より)。人口減少の主な理由は、少子高齢化や、進学・就職を契機とした若者の都市部への転出など。一方で、花巻の暮らしに魅力を感じ、移住先に選ぶ人たちも増えており、中には地域を盛り上げるきっかけとなる人もいます。

人口減少の傾向が続く中、私たちのふるさと花巻を住みたい・住み続けたいまちにしていくためにはどうしたらいいのでしょうか？

今回の特集では「移住・定住」という視点から考えました。



新保 欣也さん・準子さん夫妻

石川県出身。欣也さんは大学を卒業後、東京都でWeb関連の仕事に就く。昨年夫婦で花巻に移住。

## 花巻との出会い

「人生の大半が東京での生活でしたが、だんだんピリピリとした空気がしんどくなってきたんです」

新保欣也さんは、60歳目前で地方への移住を考え始めました。「歳を重ねるとゼロから人間関係を築くのはエネルギーが必要。だから知り合いがいるところが良くて」と新保さん。たまたま知人がいた花巻市などを移住先として視野に入れ、3年前初めて岩手を訪れました。心を動かされたのは早池峰神社。「言葉にするのは難しいけれどとにかく良かった。『ここに住みたい』ってピンとききました」

## 住まいを探す

初めは自分で早池峰神社に近い大迫町の空き家を探したという新保さん。しかし、自分の希望とマッチする物件がなかなか見つからず、思うように進みませんでした。そんな時、知人に市内の空き家が登録・紹介されている花巻市の空き家バンクを教えてもらい、利用登録。県の移住コーディネーターが所属する、東和作戦会議に案内された田瀬の物件に一目ぼれ

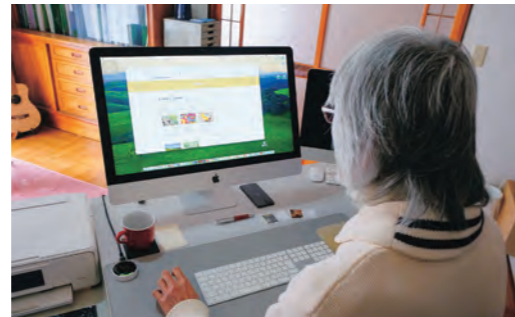
したと言います。

空き家バンクは、空き家を買りたい人と買いたい人が登録し、両者をマッチングする仕組み。空き家バンクと仲介してくれたコーディネーターさんの存在は大きかったです」と新保さんは振り返ります。空き家バンクに登録されている物件は、貸すこと・売ることとを前提としているため交渉がスムーズ。さらに移住コーディネーターから、リアルな住み心地や暮らし方を教わって安心感にもつながったそうです。「あとは私たちがこの家に住むかどうか決めるだけでした」

## 地域に溶け込む

新保さん夫妻が田瀬に移住を決めると、移住コーディネーターは行政区長と顔合わせの場を設けてくれました。そのまま一緒に同じ班の世帯をあいさつ回り。そこで移住コーディネーターが「これからはこの人たちから採れたての野菜やお米をお世話してもらってね!」と紹介してくれたそうです。結果的に知り合いのいない地域に移住しましたが、「ここで何があっても生きていけると思いまし

た」と笑顔を見せる二人。今も移住コーディネーターが作ってくれた地域との縁に感謝しています。



自宅でWebデザインの仕事を請け負います。東和町の魅力を発信するホームページの制作を担当しました(東和あそびばまっぶ | <https://towa-yurikago.org>)



初めて聴いた時からクリスタルボウルが持つパワーに圧倒されたという新保さん。「クリスタルボウルを活用し、ご縁がある人々が少しでも幸福になるお手伝いをしたい」と話します

## 東和作戦会議



大石 文子さん

菅野 和さん

東和町には不動産業者がありません。そんな中、菅野和さんと大石文子さんが移住コーディネーターとして活躍する東和作戦会議は、親身になって移住者の相談に乗っている団体です。

東和作戦会議で活躍する二人に、移住者をサポートする上で大切にしていることを伺いました。

### 移住者の不安解消に努める

**大石さん** 移住相談や空き家の紹介だけじゃなくて、困り事なら何でも聞くし、駆けつけています。移住者が少しでも安心して暮らしていくために、地域のいろんなお話もします。

### 菅野さん

例えば地区の草刈りがあるよとか、テレビの共同アンテナ組合に入らないとテレビが見られないよとか。事前にちゃんと話しておかないと、移住後にギャップを感じさせてしまいますからね。

### 大石さん

かなり不便な場所に住むことを希望する人もいて、本当に暮らせるのか念押しすることも。「諦めさせたいんですか?」なんて言われたこともあるけど(笑)。でも移住するならその地域のリアルな暮らしを知ってもらわないとね。

### 移住から定住へ

**大石さん** 地域のひとと何もつながりがないところからスタートするのは大変。だから、地域のひととの関係を築くお手伝いをすることは、定住のためにとても大切なことだと思っています。

### 菅野さん

居心地よく暮らすためにも、地域のひととのつながりは大事。せっかくなら来たら、早く地域に溶け込んでもらいたいですね。移住者の皆さんには、ゆくゆくは東和地域のみならず、花巻市全体を盛り上げてほしいです。